

# 平成30年度中の国際収支状況

## 1. 概況

(経常収支の構造変化)

海外とのモノやサービス、投資の取引状況を示す経常収支を見れば、一国の対外経済取引状況が分かる。近年は、本邦企業の活発な海外投資を背景に、長い間日本の経常黒字の牽引役であった「モノの輸出」に代わり、「直接投資や証券投資」からの収益が経常黒字を押し上げている姿が浮かび上がる。我が国の経常収支統計から日本経済の構造の変化を読み解いてみると、「貿易立国」から「投資立国」への転換が鮮明になってきていると言えよう。経常収支の推移について、過去半世紀の変化を概観すると、経常黒字を支える項目が貿易収支から第一次所得収支に移行するなど、日本経済の構造的な変化を映じた動きが見てとれる。また、我が国の経常収支の項目のうち、赤字を記録してきたサービス収支は、観光や知的財産権から得られる収入が増加する中で、赤字幅を縮小し黒字転換の兆しも見えつつある。

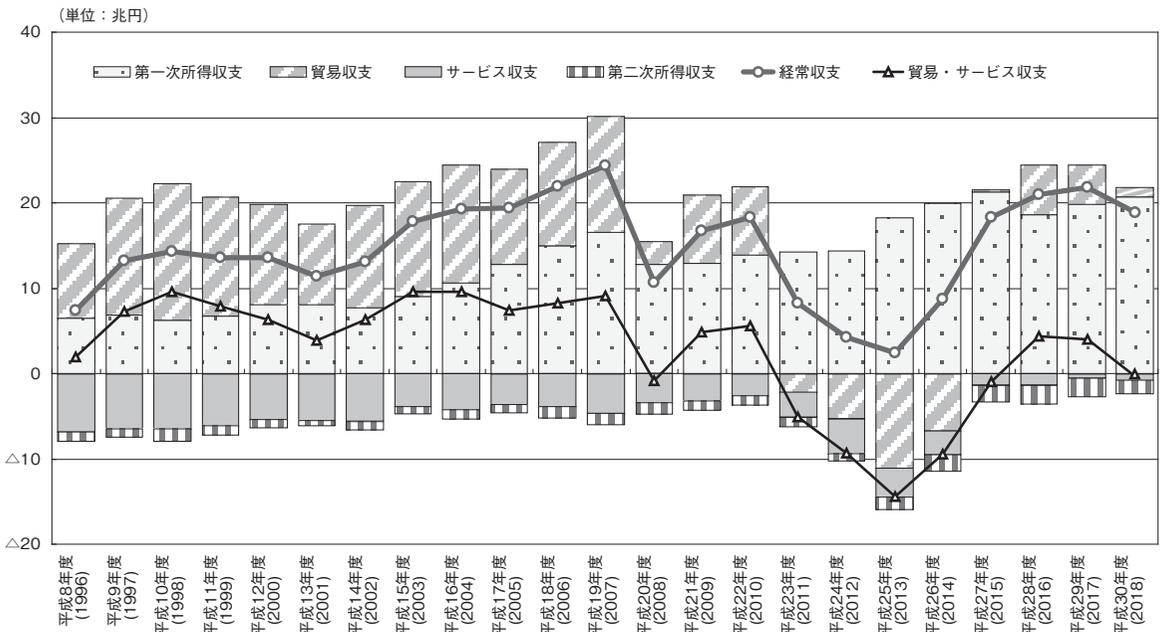
最近の貿易構造は、鉱物性燃料を中心に輸入数量が減少しにくい一方、製造業の生産拠点の海外移転が進んだことを背景に輸出数量も伸びにくく、黒字拡大が抑制される傾向にある。他方、長年の経常黒字を背景とするこれまでの対外投資により、居住者が保有する海外資産や外国証券の残高が増加した結果として、海外との配当や利子の受払を示す「第一次所得収支」の黒字が増加し、今や貿易収支の変動にかかわらず経常収支の黒字を安定的にもたらす構造が定着している。

(平成30年度国際収支状況)

平成30年度の我が国の経常収支は、第一次所得収支の黒字幅が拡大した一方で、原油価格の上昇を主因として貿易収支の黒字幅が大幅に縮小したことから、対前年度比▲2兆9,315億円黒字幅を縮小し、19兆2,434億円の黒字となった。

また、資本移転等収支は、▲1,578億円の支払超となり、金融収支は、旺盛な海外投資を反映し、直接投資及び証券投資を中心とする対外純資産が増加したこと等から、+21兆2,310億円の純資産増となった。

経常収支の推移 (平成30年度中)



以下、国際収支の各項目について詳述する。

(参考) 平成30年度中の為替相場

ドル・円相場（インターバンク直物相場・東京市場中心値の年度中平均レート）

110.90円／米ドル（前年度：110.81円／米ドル，対前年度比0.1%の円安）

ユーロ・円相場（インターバンク直物相場・東京市場17：00現在レート）の年度中平均レート）

128.46円／ユーロ（前年度：129.65円／ユーロ，対前年度比0.9%の円高）

## 2. 平成30年度の経常収支の状況

### (1) 貿易収支

貿易収支は、6,963億円の黒字となった（対前年度比▲3兆8,432億円の黒字縮小）。輸出入とも前年から増加したが、原油価格上昇等の影響を受けて輸入の増加が輸出の増加を上回ったことから、黒字幅は大幅に縮小した。

#### ① 輸出

輸出は、自動車、原動機等で輸出額が増加し、80兆3,259億円（同+2兆429億円増）となった。

#### ② 輸入

輸入は、原油価格の上昇を背景に原油や液化天然ガス等で輸入額が大きく増加したこと等から、79兆6,295億円（同+5兆8,861億円増）となった。

第1表 国際収支総括表

(単位：億円，%)

項目	平成30年度	前年度	対前年度比増減
貿易・サービス収支	△160	40,829	△40,989
(対前年度比)	(-)	(△7.4)	
貿易収支	6,963	45,396	△38,432
(対前年度比)	(△84.7)	(△21.5)	
輸出	803,259	782,829	20,429
(対前年度比)	(2.6)	(10.6)	
輸入	796,295	737,434	58,861
(対前年度比)	(8.0)	(13.4)	
サービス収支	△7,123	△4,567	△2,556
第一次所得収支	210,125	202,668	7,457
第二次所得収支	△17,532	△21,748	4,216
経常収支	192,434	221,749	△29,315
(対前年度比)	(△13.2)	(2.3)	
資本移転等収支	△1,578	△3,105	1,527
直接投資	205,842	145,279	60,563
証券投資	68,817	68,651	166
金融派生商品	1,185	18,626	△17,441
その他投資	△96,995	△48,460	△48,535
外貨準備	33,461	22,709	10,752
金融収支	212,310	206,805	5,505
誤差脱漏	21,455	△11,838	33,293

## (2) サービス収支

サービス収支は、旅行収支や知的財産権等使用料が黒字幅を拡大した一方で、輸送やその他業務サービスの赤字幅が拡大したこと等から、▲7,123億円の赤字（同▲2,556億円の赤字拡大）となった。

## ① 旅行収支

旅行収支は、訪日外客数が増加したこと等から、2兆4,267億円の黒字（同+4,084億円の黒字拡大）となり、過去最大の黒字額となった。

## ② 知的財産権等使用料

知的財産権等使用料は、ロイヤリティの受取額が増加し

たこと等から、2兆5,836億円の黒字（同+1,862億円の黒字拡大）となった。

知的財産権等使用料は、特許権などの産業財産権等使用料と音楽や映像の使用権などの著作権等使用料に分けられる。我が国の知的財産権等使用料については、産業財産権等使用料が受取超の一方、著作権等使用料は支払超の傾向がある。産業財産権等使用料の代表的なものとして、本邦企業が海外子会社等から受け取るロイヤリティが挙げられる。こうしたロイヤリティの受取額は、本邦企業の生産拠点の海外移転が進む中で増加してきており、地域的にはアジアや北米からの受取が多い。

第2表 サービス収支

(単位：億円)

項 目	平成30年度			前年度		
	受 取	支 払	収 支 尻	受 取	支 払	収 支 尻
輸 送	29,641	40,712	△11,071	38,469	45,138	△6,669
海上輸送	21,175	29,033	△7,858	30,105	33,950	△3,844
旅客	8	134	△126	8	115	△106
貨物	18,541	23,940	△5,399	27,714	21,754	5,960
航空輸送	8,338	11,423	△3,085	8,222	10,954	△2,732
旅客	3,458	8,649	△5,191	3,388	8,278	△4,890
貨物	2,669	1,969	700	2,606	1,894	713
旅行	47,265	22,998	24,267	40,507	20,324	20,183
その他サービス	139,363	159,681	△20,318	134,153	152,234	△18,081
委託加工サービス	987	5,369	△4,381	818	6,256	△5,438
維持修理サービス	1,062	6,172	△5,110	1,098	5,811	△4,713
建設	10,788	9,189	1,599	11,322	9,186	2,136
保険・年金サービス	2,701	8,066	△5,365	2,577	7,324	△4,747
金融サービス	13,055	8,821	4,234	12,009	8,721	3,288
知的財産権等使用料	51,364	25,528	25,836	47,409	23,435	23,974
通信・コンピュータ・情報サービス	5,199	18,850	△13,650	5,357	16,046	△10,689
その他業務サービス	48,313	74,747	△26,434	47,063	71,976	△24,913
個人・文化・娯楽サービス	751	791	△40	1,004	1,171	△167
公的サービス等	5,142	2,148	2,994	5,495	2,308	3,188
サービス収支	216,268	223,391	△7,123	213,129	217,696	△4,567

第3表 第一次所得収支

(単位：億円)

項 目	平成30年度			前年度		
	受 取	支 払	収 支 尻	受 取	支 払	収 支 尻
雇 用 者 報 酬	192	323	△131	188	319	△132
投 資 収 益	328,591	117,551	211,040	314,139	110,647	203,492
直接投資収益	137,574	34,146	103,428	134,386	41,166	93,220
証券投資収益	158,551	61,616	96,935	156,292	53,571	102,722
配当金	49,849	43,565	6,284	52,184	38,918	13,267
債券利子	108,702	18,051	90,651	104,108	14,653	89,455
その他投資収益	32,466	21,789	10,677	23,460	15,910	7,550
その他第一次所得	161	944	△783	68	760	△692
第一次所得収支	328,944	118,819	210,125	314,395	111,726	202,668

## (3) 第一次所得収支

第一次所得収支は、直接投資収益が拡大したこと等から、21兆125億円の黒字（同+7,457億円の黒字拡大）となった。

## ① 直接投資収益

直接投資収益は、海外子会社からの配当金が増加したこと等から、10兆3,428億円の黒字（同+1兆208億円の黒字拡大）となった。

## ② 証券投資収益

証券投資収益は、海外に支払う配当金や債券利子が増加

したこと等から、9兆6,935億円の黒字（同▲5,787円の黒字縮小）となった。

## ③ その他投資収益

その他投資収益は、1兆677億円の黒字（同+3,127億円の黒字拡大）となった。

## (4) 第二次所得収支

第二次所得収支は、一般政府と一般政府以外ともに赤字幅を縮小したことから、▲1兆7,532億円の赤字となった（同+4,216億円の赤字縮小）。

第4表 第二次所得収支

(単位：億円)

項 目	平成30年度			前 年 度		
	受 取	支 払	収 支 尻	受 取	支 払	収 支 尻
一 般 政 府	4,416	7,656	△3,240	3,998	8,266	△4,268
一 般 政 府 以 外 〔個 人 間 移 転〕	23,175	37,466	△14,292	18,487	35,967	△17,480
	4,574	6,467	△1,893	4,735	5,967	△1,232
第 二 次 所 得 収 支	27,590	45,122	△17,532	22,485	44,234	△21,748

第5表 金融収支

(単位：億円)

項 目	資 産		負 債		ネ ッ ト	
	平成30年度	前年度	平成30年度	前年度	平成30年度	前年度
直 接 投 資	246,684	167,277	40,842	21,998	205,842	145,279
証 券 投 資	256,325	168,566	187,508	99,915	68,817	68,651
株式・投資ファンド持分	79,621	119,715	△24,616	1,953	104,237	117,762
債 券	176,703	48,851	212,124	97,961	△35,421	△49,111
中 長 期 債	187,319	33,124	138,293	73,054	49,026	△39,930
短 期 債	△10,616	15,727	73,830	24,907	△84,447	△9,180
金 融 派 生 商 品	△553,517	△542,833	△554,702	△561,459	1,185	18,626
そ の 他 投 資	68,659	159,011	165,654	207,471	△96,995	△48,460
貸 付 ・ 借 入	29,672	97,934	84,488	83,192	△54,816	14,742
長 期	22,860	7,520	6,872	15,529	15,988	△8,009
〔預金取扱機関の本支店勘定〕	17,967	△11,546	7,629	4,380	10,338	△15,926
短 期	6,812	90,414	77,616	67,663	△70,804	22,751
〔預金取扱機関の本支店勘定〕	△51,864	37,221	15,087	△46,232	△66,952	83,453
貿 易 信 用 ・ 前 払	△1,928	3,113	△2,489	△1,878	561	4,991
長 期	2,752	299	114	△93	2,638	392
短 期	△4,679	2,814	△2,603	△1,785	△2,076	4,599
現 ・ 預 金	1,406	11,981	67,041	107,831	△65,635	△95,850
外 貨 準 備	33,461	22,709	-	-	33,461	22,709
金 融 収 支	51,613	△25,270	△160,697	△232,075	212,310	206,805

第6表 国際収支

	1996年度 (平成8年度)	1997年度 (平成9年度)	1998年度 (平成10年度)	1999年度 (平成11年度)	2000年度 (平成12年度)	2001年度 (平成13年度)	2002年度 (平成14年度)	2003年度 (平成15年度)	2004年度 (平成16年度)	2005年度 (平成17年度)	2006年度 (平成18年度)
貿易・サービス収支 (対前年度比)	19,208 (-)	72,769 (278.8)	95,630 (31.4)	78,494 (△17.9)	63,573 (△19.0)	38,567 (△39.3)	63,607 (64.9)	96,053 (51.0)	95,624 (△0.4)	74,072 (△22.5)	81,860 (10.5)
貿易収支 (対前年度比)	87,601 (-)	136,920 (56.3)	160,965 (17.6)	138,892 (△13.7)	117,226 (△15.6)	93,558 (△20.2)	119,243 (27.5)	135,054 (13.3)	138,639 (2.7)	110,677 (△20.2)	121,176 (9.5)
輸出 (対前年度比)	442,516 (-)	492,512 (11.3)	470,823 (△4.4)	461,775 (△1.9)	492,322 (6.6)	456,473 (△7.3)	495,284 (8.5)	527,584 (6.5)	584,556 (10.8)	655,948 (12.2)	740,012 (12.8)
輸入 (対前年度比)	354,915 (-)	355,592 (0.2)	309,858 (△12.9)	322,883 (4.2)	375,095 (16.2)	362,915 (△3.2)	376,042 (3.6)	392,530 (4.4)	445,918 (13.6)	545,271 (22.3)	618,836 (13.5)
サービス収支	△68,393	△64,152	△65,335	△60,398	△53,653	△54,991	△55,635	△39,001	△43,014	△36,604	△39,317
第一次所得収支	65,047	69,207	62,454	68,392	81,604	81,626	77,782	90,453	106,686	128,989	149,811
第二次所得収支	△10,546	△10,343	△14,589	△10,835	△9,373	△6,195	△9,941	△8,201	△9,969	△8,934	△12,806
経常収支 (対前年度比)	73,709 (-)	131,632 (78.6)	143,495 (9.0)	136,050 (△5.2)	135,804 (△0.2)	113,998 (△16.1)	131,449 (15.3)	178,305 (35.6)	192,342 (7.9)	194,128 (0.9)	218,865 (12.7)
資本移転等収支	△4,148	△9,122	△21,086	△15,667	△6,517	△3,936	△3,629	△5,598	△4,086	△7,213	△5,086
直接投資	25,683	30,038	14,903	9,099	54,261	26,183	21,212	31,523	37,819	49,532	78,693
証券投資	57,501	△45,058	41,090	△15,311	64,373	116,077	146,123	34,662	1,616	9,728	△151,887
金融派生商品	9,531	6,769	553	781	8,170	△2,586	△8,064	△2,958	△4,491	9,000	△3,455
その他投資	△14,935	154,627	82,450	43,223	△28,215	△64,341	△114,832	△268,869	112,903	67,433	230,369
外貨準備	20,763	7,617	△3,610	97,911	34,343	51,818	81,988	342,770	21,784	27,554	39,452
金融収支	98,545	153,992	135,387	135,703	132,932	127,151	126,426	137,128	169,630	163,246	193,171
誤差脱漏	28,983	31,481	12,979	15,320	3,646	17,088	△1,394	△35,579	△18,626	△23,668	△20,608

### 3. 金融収支の状況

平成30年度の金融収支（ネット：資産－負債）は、直接投資で純資産が増加したこと等から、+21兆2,310億円の純資産の増加となった。

#### (1) 金融収支・資産（居住者による外国への投資）

##### ① 対外直接投資

対外直接投資は、本邦企業による海外企業の買収がみられたこと等から、+24兆6,684億円の資産増（実行超）となった。

##### ② 対外株式・投資ファンド持分投資

対外株式・投資ファンド持分投資は、投資信託委託会社等が買い越したことから、+7兆9,621億円の資産増（取得超）となった。

#### ③ 対外中長期債投資

対外中長期債投資は、金融商品取引業者が買い越したことから、+18兆7,319億円の資産増（取得超）となった。

#### (2) 金融収支・負債（非居住者から本邦への投資）

##### ① 対内直接投資

対内直接投資は、本邦企業による海外子会社からの借入がみられたこと等から、+4兆842億円の負債増（実行超）となった。

##### ② 対内株式・投資ファンド持分投資

対内株式・投資ファンド持分投資は、電気機器等の業種において売り越したことから、▲2兆4,616億円の負債減（処分超）となった。

##### ③ 対内中長期債投資

対内中長期債投資は、中長期国債が買い越したことから、+13兆8,293億円の負債増（取得超）となった。

## の 推 移 (年 度)

(単位：億円、%)

2007年度 (平成19年度)	2008年度 (平成20年度)	2009年度 (平成21年度)	2010年度 (平成22年度)	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)
90,902 (11.0)	△8,878 (-)	48,437 (-)	55,176 (13.9)	△50,306 (-)	△92,753 (84.4)	△144,785 (56.1)	△94,116 (△35.0)	△10,141 (△89.2)	44,084 (-)	40,829 (△7.4)	△160 (-)
136,862 (12.9)	26,683 (△80.5)	80,250 (200.8)	80,332 (0.1)	△22,097 (-)	△52,474 (137.5)	△110,455 (110.5)	△66,389 (△39.9)	2,999 (-)	57,863 (1,829.4)	45,396 (△21.5)	6,963 (△84.7)
812,627 (9.8)	679,452 (△16.4)	559,068 (△17.7)	649,175 (16.1)	628,438 (△3.2)	622,026 (△1.0)	697,326 (12.1)	756,403 (8.5)	731,761 (△3.3)	708,026 (△3.2)	782,829 (10.6)	803,259 (2.6)
675,765 (9.2)	652,769 (△3.4)	478,818 (△26.6)	568,843 (18.8)	650,535 (14.4)	674,499 (3.7)	807,782 (19.8)	822,792 (1.9)	728,762 (△11.4)	650,163 (△10.8)	737,434 (13.4)	796,295 (8.0)
△45,960	△35,561	△31,812	△25,155	△28,210	△40,280	△34,330	△27,728	△13,140	△13,779	△4,567	△7,123
165,476	129,053	129,868	139,260	143,085	144,825	183,191	200,488	213,195	193,646	202,668	210,125
△13,002	△13,290	△10,755	△11,749	△10,927	△9,577	△14,477	△19,341	△20,097	△21,044	△21,748	△17,532
243,376 (11.2)	106,885 (△56.1)	167,551 (56.8)	182,687 (9.0)	81,852 (△55.2)	42,495 (△48.1)	23,929 (△43.7)	87,031 (263.7)	182,957 (110.2)	216,686 (18.4)	221,749 (2.3)	192,434 (△13.2)
△3,856	△4,940	△4,886	△4,804	2,561	△3,710	△5,838	△2,707	△7,009	△2,486	△3,105	△1,578
64,399	81,901	56,538	65,283	97,889	96,583	148,269	133,913	162,054	177,528	145,279	205,842
59,414	250,716	131,307	63,573	△61,046	△135,154	△209,590	51,089	300,342	51,733	68,651	68,817
△11,739	△19,580	△8,040	△6,701	△14,062	34,760	31,768	46,509	△5,492	7,552	18,626	1,185
102,307	△169,349	△35,198	34,222	△50,640	42,464	△27,168	△92,303	△220,147	7,363	△48,460	△96,995
40,839	24,758	23,992	52,035	114,939	△23,934	46,891	2,920	6,075	5,703	22,709	33,461
255,221	168,446	168,599	208,412	87,080	14,719	△9,830	142,128	242,833	249,879	206,805	212,310
15,701	66,500	5,934	30,529	2,668	△24,066	△27,921	57,804	66,885	35,679	△11,838	21,455